



水土里情報を活用した基幹的用水路の情報蓄積について紹介します。

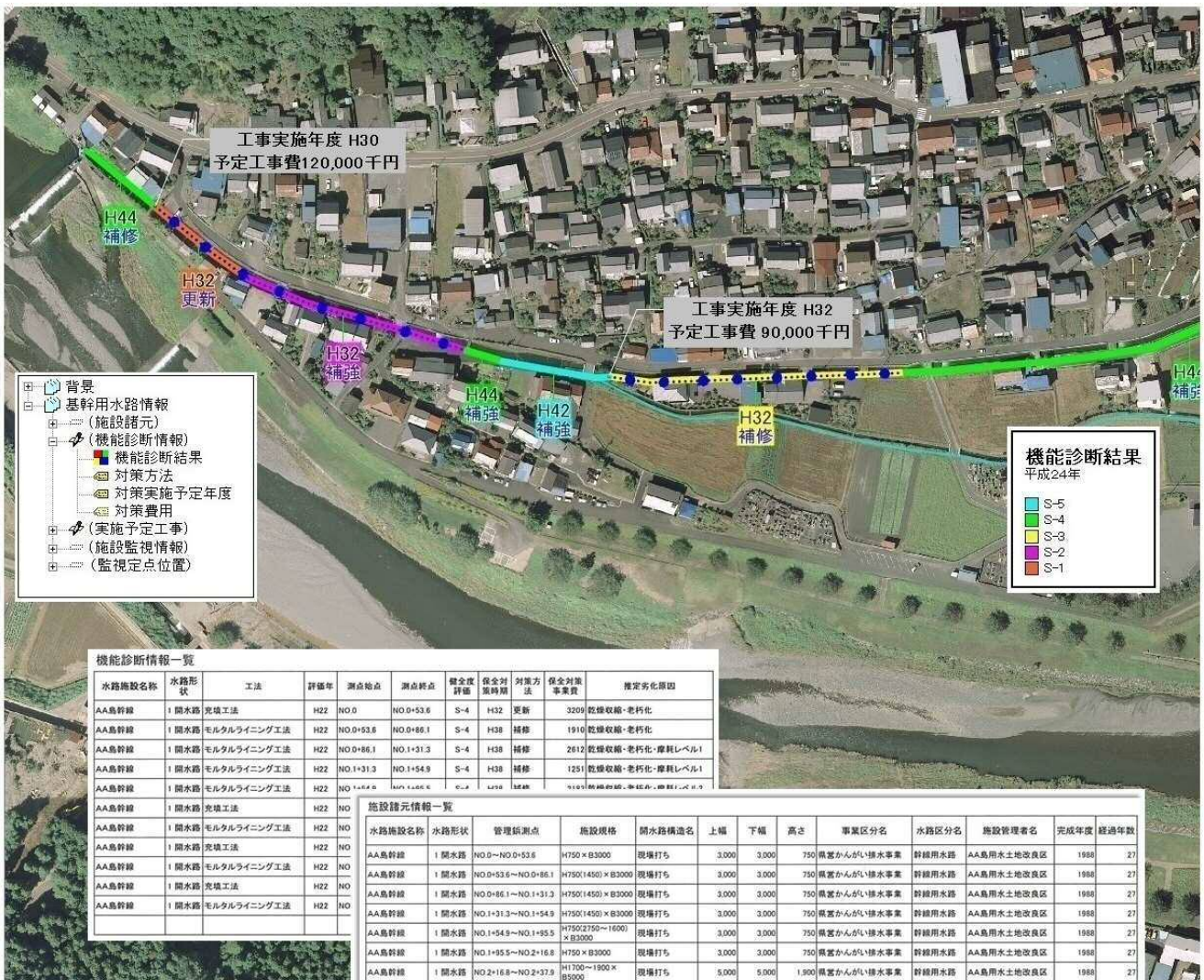
(1/2)

今回紹介する団体：岐阜県、水土里ネットぎふ、県内市町・土地改良区

取組概要

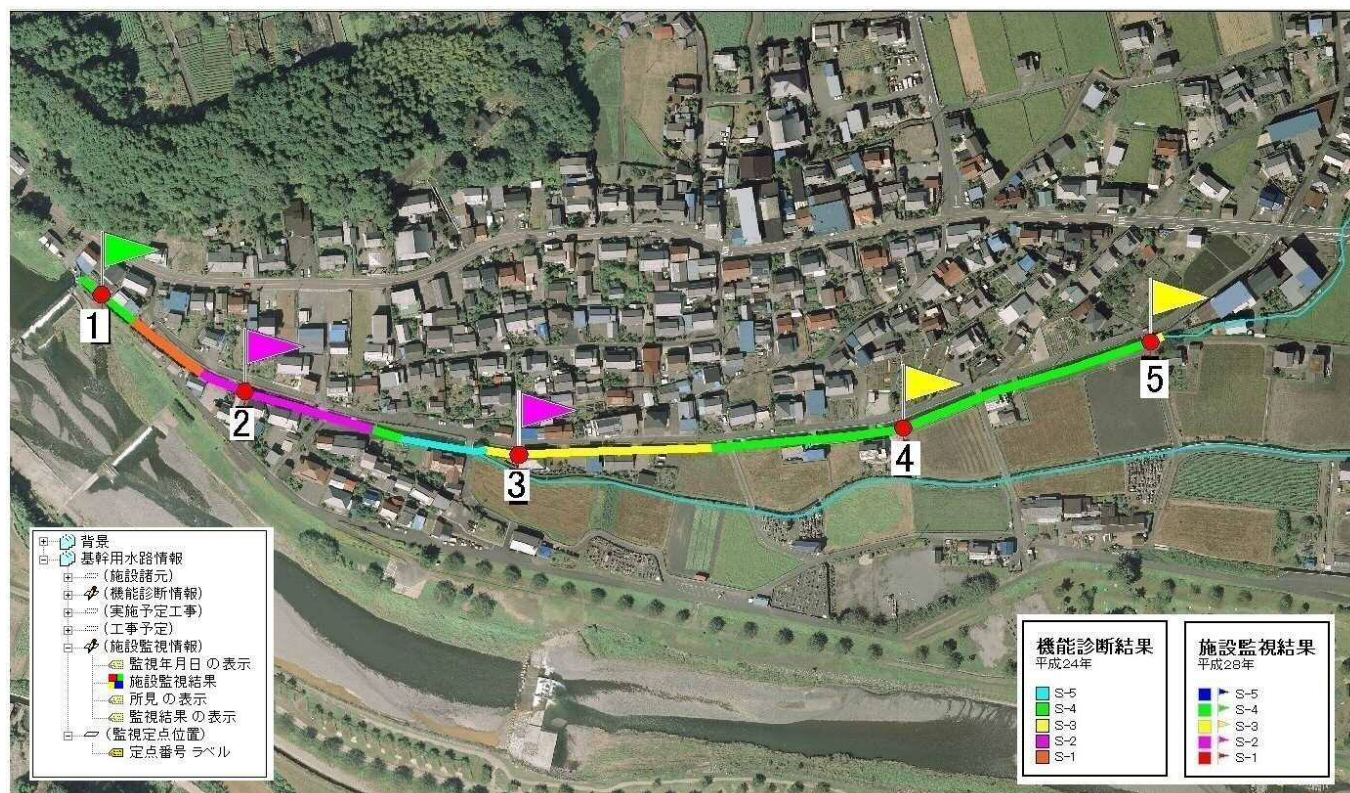
内容：岐阜県では、平成27年度より、水土里情報システムを活用して、基幹的農業用水路関連情報を一元的に蓄積・可視化し、関係者(土地改良区・市町村・県)間でのデータ共有に取り組んでいる。

経緯：岐阜県の基幹的農業用水路は、昭和30～40年代に造成された施設が多く、近い将来、改修や再整備が必要な施設が急増することが予想される。このため、効率的な対策工事を実施すべく、施設の劣化状況の把握に必要な機能診断情報、補修・改修履歴などの情報の一元的な蓄積を図るとともに、管理者の理解を深めるため、情報の可視化に取り組むこととした。



期待される効果

- ・ 現地状況、経年変化などの情報を可視化し、関係機関がデータ共有することにより、適時・的確な対策工事を選択、実施するための材料とする。



今後の活用予定

- ① 蓄積した施設監視結果の分析により、劣化速度を把握
- ② 情報の共有により、施設の管理者と造成者が一体となった管理体制を構築
- ③ 継続的な施設監視結果の蓄積により保全計画を適時に見直し
- ④ 劣化状況の可視化により、施設管理者に対し適切な対策工事時期を提案

GISシステムのバージョン情報

SIS ver7.0(スタンドアロン) 水土里情報入力システム ver3.0

■お問い合わせ先

岐阜県土地改良事業団体連合会 スtockマネジメントセンター 058-271-1328(直通)
 農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2201(直通)